

2016年12月期 第1四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2016年12月期 第1四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
III	2016年12月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

2016年4月27日



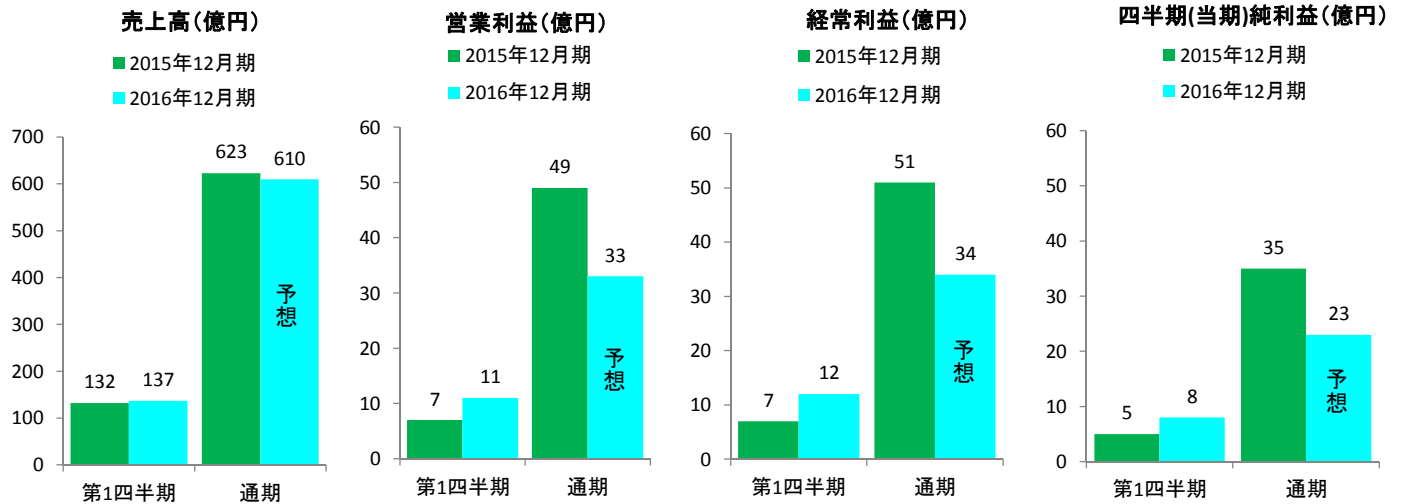
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

※2016年12月期 業績予想については、2016年2月3日「2015年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。なお、2016年4月に実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みであります。

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2015年12月期 実績	2016年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,298	13,740	441	3.3	62,378	61,000	22.5
営業利益	745	1,184	439	59.0	4,919	3,300	35.9
経常利益	794	1,223	428	54.0	5,135	3,400	36.0
四半期(当期)純利益	532	803	270	50.8	3,527	2,300	34.9
(参考)							
研究開発費	1,119	1,042	△76	△6.9	5,237	4,700	22.2
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 18.83	28.39	9.56		124.65	81.27	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.7	1.0	0.3		4.3	-	
総資産経常利益率	(%) 0.9	1.2	0.3		5.4	-	
売上高営業利益率	(%) 5.6	8.6	3.0		7.9	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.6	0.8	0.2		3.7	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2015年12月期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,868	97,860	△1,007	△1.0
純資産	82,826	82,836	10	0.0
自己資本比率	(%) 83.8	84.6	0.8	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,926.81	2,927.17	0.36	

Ⅱ 2016年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

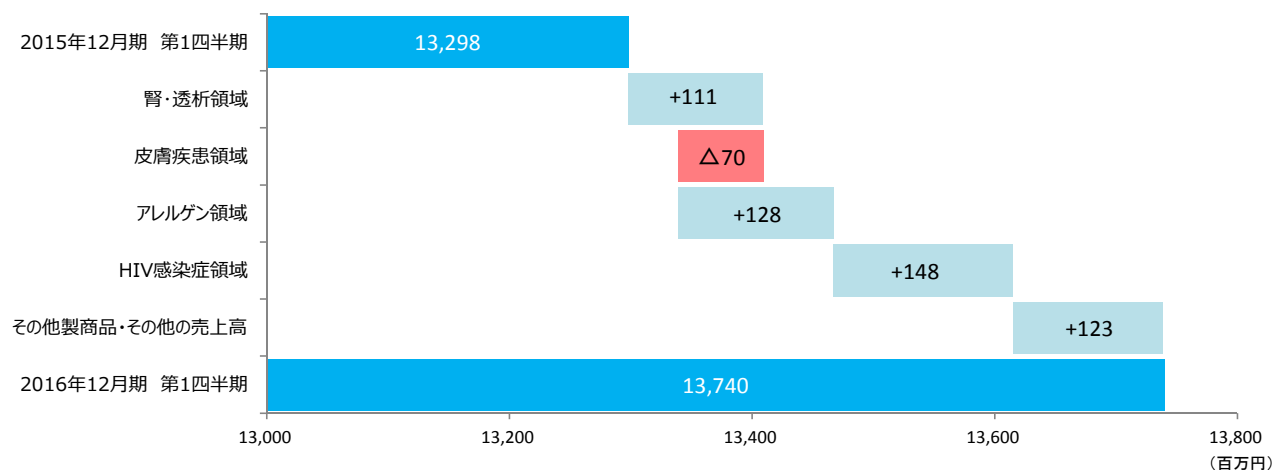
(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期 A	第1四半期 B		
売上高	13,298	13,740	441	3.3
製商品売上高	13,203	13,609	406	3.1
腎・透析領域	5,717	5,829	111	2.0
皮膚疾患領域	2,369	2,299	△70	△3.0
アレルギー領域	174	302	128	73.9
HIV感染症領域	3,612	3,761	148	4.1
その他	1,328	1,417	88	6.7
その他の売上高	94	130	35	37.2
売上原価	6,398	6,475	76	1.2
製商品売上原価	6,386	6,459	73	1.1
その他の原価	11	15	3	29.3
売上総利益	6,899	7,264	365	5.3
販売費及び一般管理費	6,154	6,079	△74	△1.2
販管費(研究開発費除く)	5,035	5,037	2	0.0
研究開発費	1,119	1,042	△76	△6.9
営業利益	745	1,184	439	59.0
営業外収益	51	38	△12	—
営業外費用	2	0	△2	—
経常利益	794	1,223	428	54.0
特別損失	0	14	13	—
税引前四半期純利益	793	1,209	415	52.3
法人税等	260	405	144	—
四半期純利益	532	803	270	50.8

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2015年12月期	2016年12月期	増減
	第1四半期 A	第1四半期 B	
売上原価	48.1	47.1	△1.0
販売費及び一般管理費	46.3	44.3	△2.0
研究開発費	8.4	7.6	△0.8
営業利益	5.6	8.6	3.0
経常利益	6.0	8.9	2.9
四半期純利益	4.0	5.8	1.8

【対前年同期増減要因】

売上高（13,740百万円 対前年同期 +441百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	+269百万円
アレルギー領域	：シダトレン スギ花粉舌下液	+116百万円
HIV感染症領域	：スタリビルド配合錠	+191百万円
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照		

営業利益（1,184百万円 対前年同期 +439百万円）

特記事項：特になし

経常利益（1,223百万円 対前年同期 +428百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（803百万円 対前年同期 +270百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,203	13,609	406	3.1
レミッチカプセル	3,258	3,255	△2	△0.1
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	2,925	2,890	△35	△1.2
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※	1,514	1,514	△0	△0.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	936	1,205	269	28.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	622	814	191	30.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
注射用フサン ※	627	560	△67	△10.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	518	554	35	6.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	513	507	△6	△1.3
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※	331	338	6	2.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ユリノーム錠 ※	381	300	△81	△21.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	218	237	19	8.7
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ゼフナート	220	209	△11	△5.1
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	72	188	116	160.5
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [アレルギー領域]				
その他製商品	1,061	1,032	△28	△2.7

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2015年12月期 第1四半期 A	2016年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,864	3,825	△38	△1.0
自社品比率 (%)	29.3	28.1	△1.2	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	77,155	77,074	△80	△0.1	78.8
現金及び預金	14,361	16,111	1,749		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	4,348	6,091	1,743		
受取手形及び売掛金	27,904	25,389	△2,515		
有価証券	18,708	14,805	△3,902		
たな卸資産	9,836	12,315	2,478		
その他	1,994	2,360	366		
固定資産	21,713	20,786	△927	△4.3	21.2
有形固定資産	6,182	5,980	△201		
無形固定資産	955	931	△24		
投資その他の資産	14,575	13,874	△701		
投資有価証券	6,800	6,110	△689		
長期前払費用	6,530	6,436	△94		
その他	1,244	1,327	82		
資産合計	98,868	97,860	△1,007	△1.0	100.0
流動負債	14,472	13,471	△1,000	△6.9	13.8
買掛金	6,853	8,236	1,382		
未払金	3,287	2,316	△971		
未払法人税等	1,915	446	△1,469		
賞与引当金	660	1,257	597		
その他	1,755	1,214	△540		
固定負債	1,569	1,552	△17	△1.1	1.6
負債合計	16,042	15,024	△1,018	△6.3	15.4
株主資本	82,127	82,251	124	0.2	84.0
評価・換算差額等	698	584	△114	△16.3	0.6
純資産合計	82,826	82,836	10	0.0	84.6
負債純資産合計	98,868	97,860	△1,007	△1.0	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少
- 有価証券 : 金銭信託の償還による減少
- たな卸資産 : 商品の増加

(流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	426	136	△289	△68.0
有形固定資産	297	73	△223	△75.2
無形固定資産	128	62	△66	△51.2

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	339	347	8	2.4
長期前払費用償却費	229	251	21	9.3

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠		Phase II / III 終了※				・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠		Phase III				・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠				申請		・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時 (2016年2月3日) からの変更点

・TO-203 (アレルギー性喘息) の開発段階に「Phase II / III 終了※」、備考欄に「※今後の開発方針について検討中」と追記しておりますが、研究開発の状況に変更はありません。

Ⅲ 2016年12月期 業績予想

※2016年12月期 業績予想については、2016年2月3日「2015年12月期決算 参考資料」で発表しております
 予想数値から変更はありません。なお、2016年4月に実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込
 み済みであります。

① 損益計算書

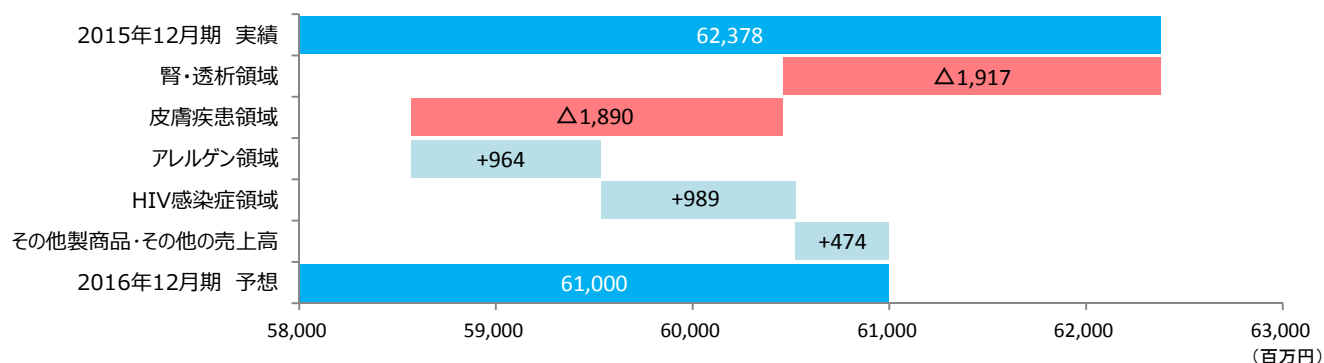
(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
売上高	62,378	61,000	△1,378	△2.2
製商品売上高	61,861	59,770	△2,091	△3.4
腎・透析領域	27,627	25,710	△1,917	△6.9
皮膚疾患領域	10,970	9,080	△1,890	△17.2
アレルギー領域	905	1,870	964	106.5
HIV感染症領域	16,330	17,320	989	6.1
その他	6,028	5,790	△238	△4.0
その他の売上高	517	1,230	712	137.9
売上原価	30,814	30,500	△314	△1.0
売上総利益	31,564	30,500	△1,064	△3.4
販売費及び一般管理費	26,645	27,200	554	2.1
販管費(研究開発費除く)	21,408	22,500	1,091	5.1
研究開発費	5,237	4,700	△537	△10.3
営業利益	4,919	3,300	△1,619	△32.9
経常利益	5,135	3,400	△1,735	△33.8
当期純利益	3,527	2,300	△1,227	△34.8

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2015年12月期	2016年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	49.4	50.0	0.6
販売費及び一般管理費	42.7	44.6	1.9
研究開発費	8.4	7.7	△0.7
営業利益	7.9	5.4	△2.5
経常利益	8.2	5.6	△2.6
当期純利益	5.7	3.8	△1.9

【対前期実績増減要因】

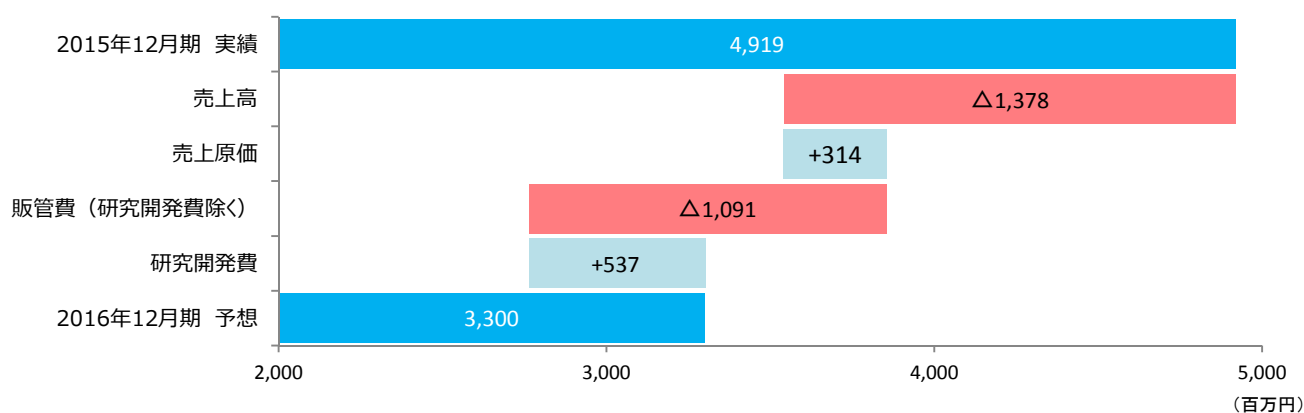
売上高（61,000百万円 対前期実績 Δ 1,378百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	レミッチカプセル	Δ 2,486百万円	注射用フサン	Δ 612百万円
	ユリノーム錠	Δ 324百万円	リオナ錠	+1,685百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	Δ 921百万円	ゼフナート	Δ 387百万円
アレルギー領域	シダトレン スギ花粉舌下液	+528百万円		
HIV感染症領域	スタビルド配合錠	+416百万円	ツルバダ配合錠	Δ 388百万円

※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（3,300百万円 対前期実績 Δ 1,619百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の減少、薬価改定に伴う原価率の上昇
販管費（研究開発費除く）	: 販売権償却費の増加、販売促進費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用（TO-206）の減少

経常利益（3,400百万円 対前期実績 Δ 1,735百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（2,300百万円 対前期実績 Δ 1,227百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
製商品売上高	61,861	59,770	△2,091	△3.4
レミッチカプセル	15,636	13,150	△2,486	△15.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,938	12,550	△388	△3.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	5,034	6,720	1,685	33.5
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※	6,881	5,960	△921	△13.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
スタビルド配合錠	3,133	3,550	416	13.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
注射用フサン ※	3,062	2,450	△612	△20.0
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,272	2,320	47	2.1
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	2,288	2,110	△178	△7.8
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※	1,417	1,330	△87	△6.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ユリノーム錠 ※	1,604	1,280	△324	△20.2
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	1,143	1,170	26	2.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	511	1,040	528	103.2
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [アレルギー領域]				
ゼフナート	1,407	1,020	△387	△27.5
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
その他製商品	4,528	5,120	591	13.1

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
自社品売上高	17,567	16,370	△1,197	△6.8
自社品比率 (%)	28.4	27.4	△1.0	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	2,207	1,160	△1,047	△47.5
有形固定資産	1,802	756	△1,046	△58.1
無形固定資産	405	404	△1	△0.3

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2015年12月期	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,457	1,438	△19	△1.4
長期前払費用償却費	824	1,089	264	32.1

⑤ 配当

		2015年12月期	2016年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	38.5	59.1	20.6	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起